

事業概況

(平成27年3月1日から至平成28年2月29日まで)

1. 全般的概況

当期における我が国経済は、政府の経済財政政策により、雇用と所得環境の改善が継続し、また企業業績では良好な収益環境が続いている一方で、個人消費には足踏みが見られるようになるなど、依然として先行き不透明な状況が続いて参りました。

当業界におきましても、新設住宅着工戸数が前年同月比で増減を繰り返すなど一部不安定な動きも見られましたが、省エネ住宅ポイント制度の施行等の政府による住宅取得支援策によって全体としては持ち直し、注文住宅などの「持ち家」においては前年度比2.2%増の28万4441戸(国土交通省建築着工統計調査)と、消費増税後の落ち込みから回復し、2年ぶりのプラスとなるなど、緩やかな回復傾向が見られます。

このような経済状況の中、当社グループでは新たな成長を目指すべく平成27年3月に10年ビジョンや中期3ヵ年計画を発表、初年度である本年は基本方針「未来に向かって価値創造」の下、3000名規模のお客様感謝イベント等を開催し、受注拡大に向けた取り組みを推進いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高37,389百万円(前年比7.0%増)、営業利益879百万円(前年比486.6%増)、経常利益1,134百万円(前年比38.0%増)、当期純利益477百万円(前年比78.7%増)となり、前年度から大きな回復をいたしました。

2. 事業別概況

<住宅建築事業>

住宅建築及び不動産を扱う事業では、一昨年7月にリリースした太陽光を搭載した「太陽が稼ぐ家」が好評を博し、4月~9月の受注金額においては前年比132%を記録、また10月~12月の受注金額でも前年比119.7%を記録するなど、販売拡大に努めて参りました。また、10月には世界で注目される職人の技を採り入れた「木和美」を発売、住宅業界でさらに、地域密着のサービス体制をより一層強化することを目的に注文住宅事業の分社化の準備を進めるなど、将来に向けた布石も着実に進めて参りました。更に、高価格帯住宅の新ブランドであるAQレジデンスを始動し高級住宅市場への第一歩を踏み出しました。

以上の結果、当事業での受注棟数は1,565棟、引渡棟数は1,390棟となり、売上高は36,740百万(前期比7.4%増)となりました。

<工務店支援事業>

工務店へのノウハウ提供及び工務店ネットワーク「ジャープネット」の運営を行う工務店支援事業では、引き続き永代ビルダー塾、新生ビルダー塾を中心に、地域密着型ビルダーの経営ノウハウを教え学びあう循環型ネットワークの推進に努めました。また、10月にはジャープネットの活動がグッドデザイン賞特別賞「未来づくりデザイン賞(経済産業省商務情報政策局長賞)」を受賞し、17年間にわたる様々な活動実績が高く評価されると同時に、ネットワークとしての将来性が認められました。

以上の結果、当事業での売上高は648百万(前期比13.0%減)となりました。

3. 会社が対処すべき課題

平成28年度における当社は、基本方針「総員経営マインドの定着と顧客感動経営の仕組み構築」の下、中期3ヵ年計画の2期目に取り組みます。~地域を笑顔で満たす~豊かな暮らし提案企業を目指し、今回は、組織営業による効率受注、新チャネル拡大、総員参画型商品改善、次世代建築体制構築、採用育成強化・やりがい創造、を重点施策として事業活動に取り組んで参ります。

4. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産以外は単位：千円)

区 分	平成 25 年度 第 29 期	平成 26 年度 第 30 期	平成 27 年度 第 31 期
売 上 高	39,668,611	34,943,047	37,389,327
経 常 利 益	958,754	822,302	1,134,647
当 期 純 利 益	498,165	267,064	477,212
1株当たり当期純利益	45,694円88銭	24,496円83銭	43,772円95銭
総 資 産	18,616,232	17,773,895	19,540,026
純 資 産	5,983,882	6,073,273	6,528,680
1株当たり純資産額	548,879円36銭	557,078円80銭	598,851円65銭

1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数、1株当たり純資産は期末発行済株式総数に基づき算出しております。